



<本年度クラブ会長方針>

変わる勇気と変える勇気を持ち、
和の心でロータリーの輪を広げよう！

承認 1985年2月12日 会長 飯田昭夫 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F
例会日 木曜日12時30分 幹事 木村吉伸 電話(052)251-0181 FAX(052)251-0337 〒460-0008
例会場 名古屋東急ホテル URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

第1972回例会

水と衛生月間

令和7年3月27日(木)

クラブフォーラム

クラブ戦略委員会の

会員61名

出席計算数

54名中45名出席

出席率83.33%

前々回出席率87.27%

例年プログラム

★委嘱状伝達式

★大須観音しだれ桜観桜会&新会
員歓迎会案内

★クラブフォーラム
発起人 堀江 英弥

ロータリーソング

「われらひまわり」

指揮者 松本 哲朗

ピアノ伴奏 富板 玲子

二ノボックス

桜開花発表の翌日ですー桜だのし
みましよう。

飯田 昭夫・岡部 快圓

横井 衛・加藤巳千彦

丹下 富博・杉本 忠夫

西脇 良輔・岡田 尚彦

岡部快雅委員長はじめクラブ戦略
委員会の皆様、クラブフォーラム
よろしくお願ひします。

木村 吉伸

岡部さん・奥様本当にありがとう
ございました。職人達が大変感激
していました。
木村 光徳

第204回ゴルフ例会参加の皆様
お疲れ様でした。一緒に回って頂
いた堀江さん木村光徳さん吉田憲
一さんのおかげで優勝できました。
ありがとうございました。

河合 誠弥

本日クラブフォーラムよろしくお
願ひいたします。岡部 快雅
庭の桜が咲きました。鬼頭 茂成
先日は鬼頭さんありがとうございました。

尾上 昇

今シーズンもお陰さまでスキーを
35日はやれました。吉田 隆彦
娘が大学、息子が高校を無事卒業し
ました。娘は大学院、息子は大学に
進学します。しっかりと働きます。

榊原 陽子

柴岡 正将

会長挨拶

会長 飯田 昭夫

こんにちは。2週間ぶりに東急
ホテルでの例会ですが、本日はク
ラブフォーラムにしっかり時間を
取りたいとの岡部快雅クラブ戦略
委員長の申し出がありましたので、
皆さんにしっかりと意見を出してい
ただくために、会長挨拶はこれぞ
終わります。

クラブフォーラム

クラブ戦略委員会の

クラブ戦略委員長 岡部 快雅

「当委員会の役割はクラブ計画書
記載の通り、『我がクラブの抱える

問題点を抽出し、これら問題解
決を示し、クラブの発展より活性
化を目指すこと。』でございます。
特に昨年度、丹下直前会長より前
クラブ戦略委員会に諮問が出され
「あのかた委員会」が立ち上げら
れ、まさに今後の当クラブの在り
方について議論されました。そし
て昨年度末に尾上前委員長より答
申が出され、皆様方も一読頂い
ている所であると思ひます。その
答申を元に今年度はクラブ戦略委
員会を進めております。

ありかた委員会答申の内容を改
めて見てみますと、大きく5つの
問題に分かれております。

- ① 会員に関する事項
- ② クラブの運営に関する事項
- ③ クラブの活動事業に関する事項
- ④ 財務に関する事項
- ⑤ クラブの理念やマイメンテナ
ンツに関する事項

特に①会員に関する事項につい
ては尾上前委員長の統括の中でも
クローズアップされております。
ご意見が一番多かったことはもち
ろ、②クラブの運営や③クラブ



るん、④財務の大きく関わる問題であり、
これらすべてが会員数の増加によっ
て解決できる事柄が多く含まれて
おります。その為、やはり「会員増
強」といのが何よりの重要課題
であると考えます。今年度はこの
会員に関する事項について委員会
内で様々な意見を出し合い、議論
を重ねました。

そもそも丹下直前会長からの諮
問依頼においても、会員数が最大の
課題として始まっております。

会員が減少している→それに
伴い財政が厳しくなる→経費を縮
小→それでは本末転倒である。

この問題については昨年度までも
度々議論が重ねられて参りました。
そこで前々期加藤会長年度、前期
の丹下会長年度にはクラブとして
会員増強を重点項目に据えた運営
が行われました。その効果もあり
せつかく新会員を迎えることがで
きても一方で退会者も出てくる。
それによって純増はそこまで増え
ないというのが現状でした。そこ
で諮問が行われた訳です。

まずこの答申にも記載されてお
りますが、昨年度まで様々な観点
から議論した結果、適切にクラブ
を運営する為目指すべき目標は会
員数80名の確保という事になり
ております。しかしながら配布資料
の通り、大須クラブが発足し、順調

に会員を増やしていった中、2000年以降は少しずつ数を減らし、80名を維持するようが出来ておりません。そして20-21年度には50名まで減少しました。そこで昨年度一昨年とクラブを挙げて会員増強を図られ、合わせて約20名の新会員をおかえしました。しかしながらその間にも退会があり、今年度を含め3年度で純増は8名に留まっております。

ロータリーは単年度事業である、しかしながら現状当クラブにおいて会員増強というのは決して外してはいけないテーマであり、会長幹事役員、理事会云の問題ではなく、全会員が常に意識を持つておくべき問題であると考えます。特に当クラブの現状を再確認し、他人事ではなくクラブ全体、会員全員で危機意識を持つて頂く。これを今回のフォーラムのテーマとさせて頂きたいと思っております。

- 次に、改めて諮問委員会の答申を見ておきますと会員に関する事項も5つの5つに分類されており以下の通りです。
- (1) 入会について：
 - 入会手続きのルールの明文化
 - 入会条件の明示化
 - (2) 新会員へのフォローアップ：
 - 入会後のガイドライン作成
 - チャーター制度、既存会員との融和の機会
 - (3) 大須クラブとしてのルール作り：
 - 服装、メイクアップ、業種バランス

(4) 会員の人材育成と啓蒙：
ロータリー賞賛養成、自己研鑽の機会創出

(5) 既存会員について：
参加を促し今後のクラブ運営を考える

会員増強とは新会員の獲得と退会防止、この2点であると思われまます。先日行われました委員会にて「退会」というのは金銭的、時間的などそれぞれの事情がある防備のが大変難しい。ならば入会時のマニュアルを作成し、入会者、また受け入れる側もしっかりと覚悟を持つことが必要ではないか？」との意見がありました。

確かに私も入会してまだ5年程の新参者ですが、私より新しい会員の方に服装であり、メイクアップであり、質問された時にはっきり答えられない事が多くあります。また、会員の方が新会員を連れてきて頂いても、入ってみたら違う等色々言われてしまう。このクラブの事を考え紹介して下さっている方も煩わしくなってしまう。そこも紹介者の責任となると、この先紹介する人が減り、クラブの存続が難しくなっていくのではないのでしょうか？ 事実、私も新会員を自信をもって紹介できるかというところ難しい所があると思えます。そこで入会時のマニュアルを作成し、新会員に入会後のギャップが無いよう説明をする。受け入れるこちらとしても今このク

ラブの基準はごだという事を共通認識として持つてもらう必要があるのではないかと考えました。入会基準、ドレスコード、メイクアップというところを今後委員会にて策定し、皆様方へ共有していければと考えております。特にこのクラブに必要な人はどのような人なのか、逆に歓迎できないのはどのような人なのか、その辺りを考えていかねばと思っております。

テーブルディスカッション

本日は皆様「テーブル」で会員数80名を確保するには何が重要か？ どうしたらいいか？ という事を議論し、一つでもお考えを頂きたく存じます。皆様方全員に胸襟を開いて頂き、熱く意見を交わしていただきたいと思えます。

ディスカッションの説明

ファシリテーター 丹下 高博さん

- クラブ戦略委員会委員
- 第1章： 岡部 快雅さん
 - 第2章： 尾上 昇さん
 - 第3章： 飯田 昭夫さん
 - 第4章： 丹下 高博さん
 - 第5章： 杉本 忠夫さん
 - 第6章： 大上 晃延さん
 - 第7章： 木村 吉伸さん
 - 第8章： 松岡 毅さん
- 岡部 快雅さん

本日頂いたご意見を基に更に委員会内で議論し、また皆様方にお示しできればと存じます。熱いご意見を沢山頂きありがとうございます。

このような大きなテーマを私のような浅い者が偉そうな事をお話させて頂きました。関係者の方には失礼な部分もあつたかと存じます。しかしながら諸先輩方の作り上げたこのクラブを未永く存続していく、そしてこのクラブの功績を残していく為、未来へのお話とご理解頂き、今後もどうぞご協力頂きますようお願い致します。

本日はありがとうございました。

委嘱状伝達式

地区役員委員会出向

- ・諮問委員会 岡部 快雅
- ・国際奉仕委員会 木村 吉伸
- ・資金推進委員会 副委員長 仲林 宏宣



- ・ファシリテーター 照井 栞
- ・地区監査役 高木 政義 (2年の任期につき今年度の委嘱状はなし)



その他・お知らせ

岡田尚彦さんの切手展示

会員の岡田尚彦さんの切手作品「令和6年の切手達」を、名古屋中郵便局2階に展示してまいりました。

昨年国内で発行された記念切手と、郵便料金改定で発行された切手の展示となっております。これまでの年賀切手と入れ替わりました。

郵便事業への奉仕活動です。お近くに行かれる際には是非鑑賞下さい。

(文責、大原敏正)



公共イメージ向上委員会

- 横川 誠人
- 深谷 昭広・小笠原和俊
- 小澤 幸男・黒岩 麗子
- *本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。